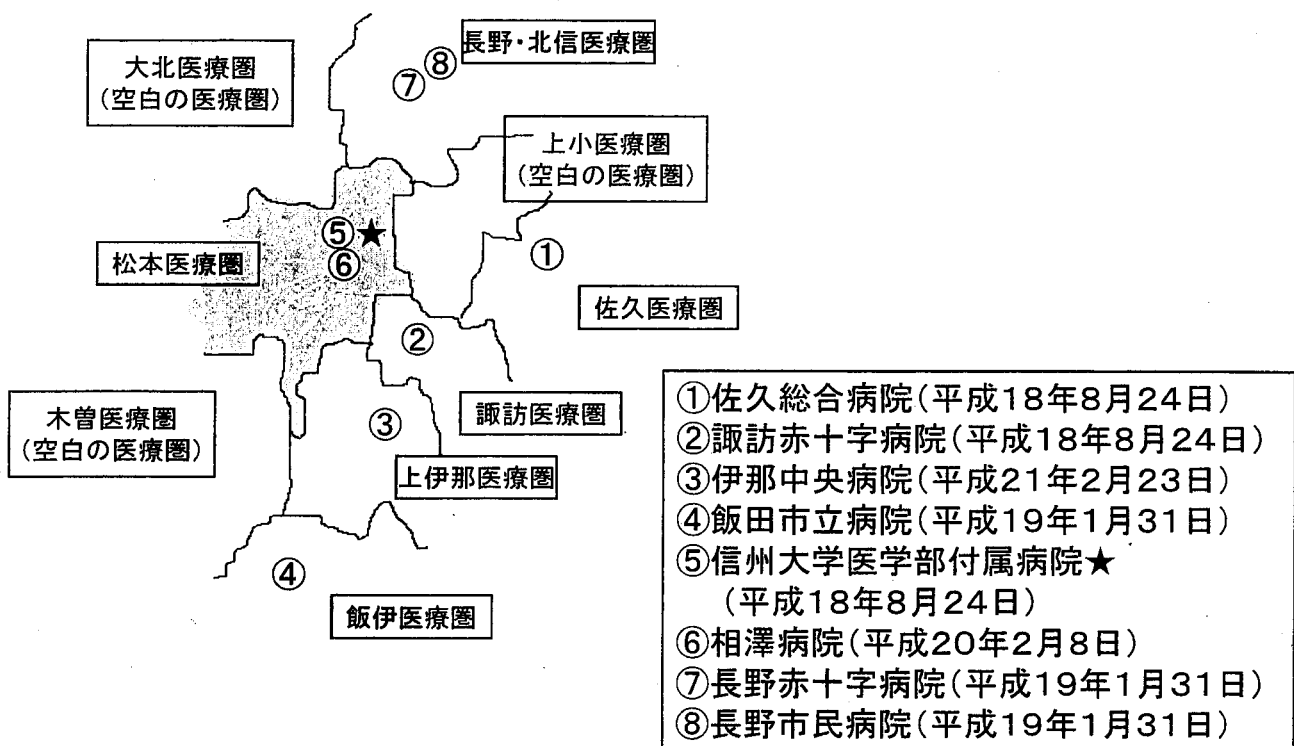


# 20 長野県

-227-

資料 1

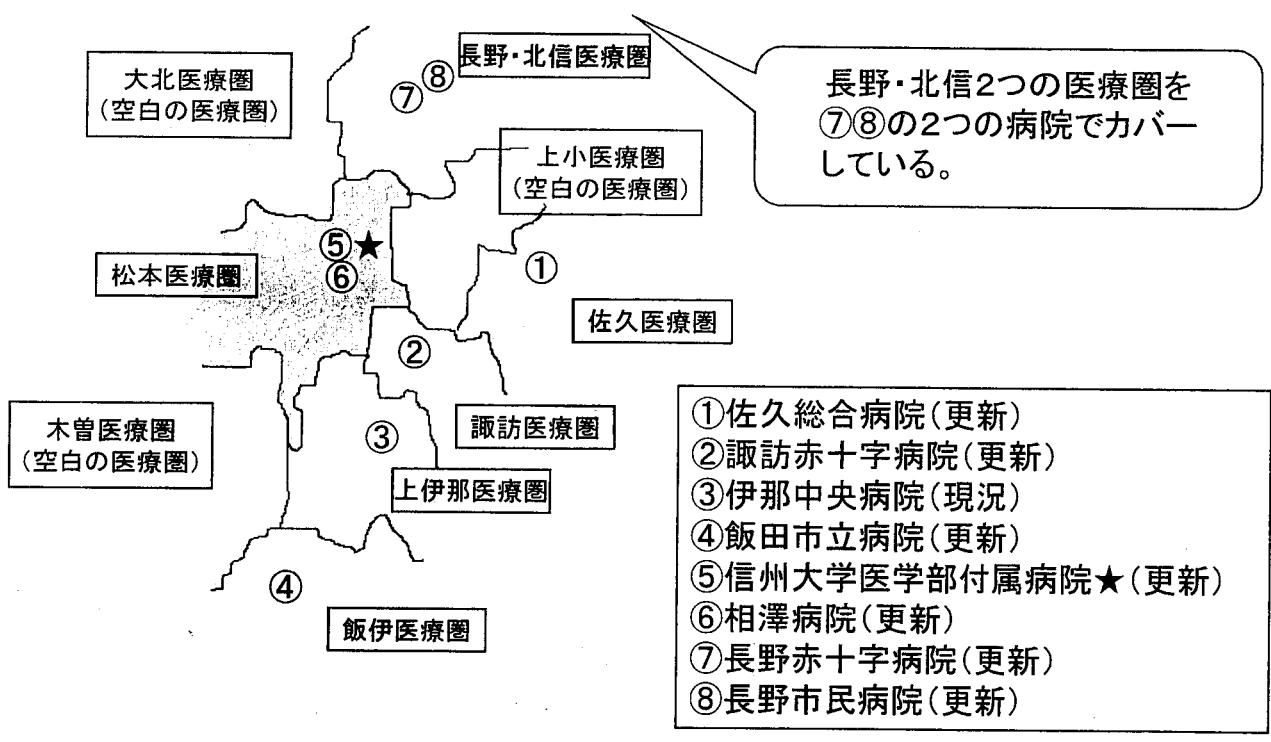
## 長野県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



-228-

都道府県	更新	申請区分	病院名	年間新入院が患者数(1月~12月)	年間新入院患者に占めるがん患者の割合(%)	がんの種類										年間患者実数(1月~12月)		薬物療法のべ患者数		緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(6~7月の集計)	相談センター相談件数(6~7月の集計)	退院時共同指導料2(6~7月の集計)
						肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		体外照射	小線治療	入院患者数	外来患者数			
						開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	内視鏡手術							
1	更新	佐久総合	(3739) 2591	(29) 18	(130) 157	(8) 4	(20) 17	(11) 19	(0) 2	(6) 11	(6) 8	(1) 9	(6) 0	(11) 16	(0) 0	(420) 405	(0) 0	(548) 345	(344) 477	(10) 22	(21) 91	(4) 0
2	更新	諏訪赤十字	(2057) 2305	(22) 24	(138) 133	(1) 0	(0) 2	(12) 12	(0) 0	(26) 22	(6) 9	(7) 1	(6) 3	(12) 6	(0) 1	(218) 296	(0) 0	(122) 150	(305) 147	(5) 12	(79) 48	(0) 0
3	現況	伊那中央	1513	17	97	1	9	18	0	4	4	3	1	9	0	239	0	45	105	5	17	0
4	更新	飯田市立	(1972) 2052	(21) 23	(92) 103	(1) 1	(2) 0	(12) 13	(0) 0	(16) 19	(2) 1	(1) 5	(0) 0	(15) 14	(0) 0	(273) 306	(8) 12	(104) 107	(143) 195	(16) 20	(88) 100	(0) 4
5	★更新	信州大学	(3929) 3976	(32) 32	(155) 213	(3) 3	(14) 15	(4) 6	(1) 4	(9) 5	(3) 1	(5) 8	(7) 7	(18) 19	(2) 0	(680) 583	(10) 18	(186) 189	(206) 310	(4) 18	(57) 75	(0) 0
6	更新	相澤	(1765) 1780	(15) 14	(148) 102	(1) 1	(0) 3	(9) 11	(0) 0	(23) 20	(10) 10	(0) 0	(1) 1	(12) 15	(0) 0	(32) 392	(0) 0	(21) 38	(989) 371	(19) 19	(13) 35	(14) 19
7	更新	長野赤十字	(2850) 2581	(21) 19	(98) 118	(4) 2	(0) 3	(6) 17	(0) 1	(8) 14	(0) 1	(0) 4	(1) 0	(6) 13	(0) 0	(514) 487	(34) 15	(146) 151	(242) 428	(25) 24	(19) 102	(0) 2
8	更新	長野市民	(2349) 2382	(35) 32	(150) 176	(8) 6	(0) 1	(5) 10	(0) 0	(15) 5	(5) 5	(0) 3	(4) 0	(11) 22	(0) 0	(385) 355	(104) 84	(56) 15	(41) 239	(44) 68	(450) 356	(0) 0

長野県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



本県では、10ある2次医療圏のうち7医療圏においてがん診療連携拠点病院が整備されている。

各2次医療圏では、原則1か所のがん診療連携拠点病院を整備することとしている。

(県がん診療連携拠点病院が整備されている松本医療圏は除く)

今回の申請は、全て更新の申請であり、該当する医療機関は、指定要件を全て満たしている。

本県では独自の取り組みとして、既に指定を受けたがん診療連携拠点病院に対する機能評価(現地調査)を実施し、がん医療の質の確保を維持している。



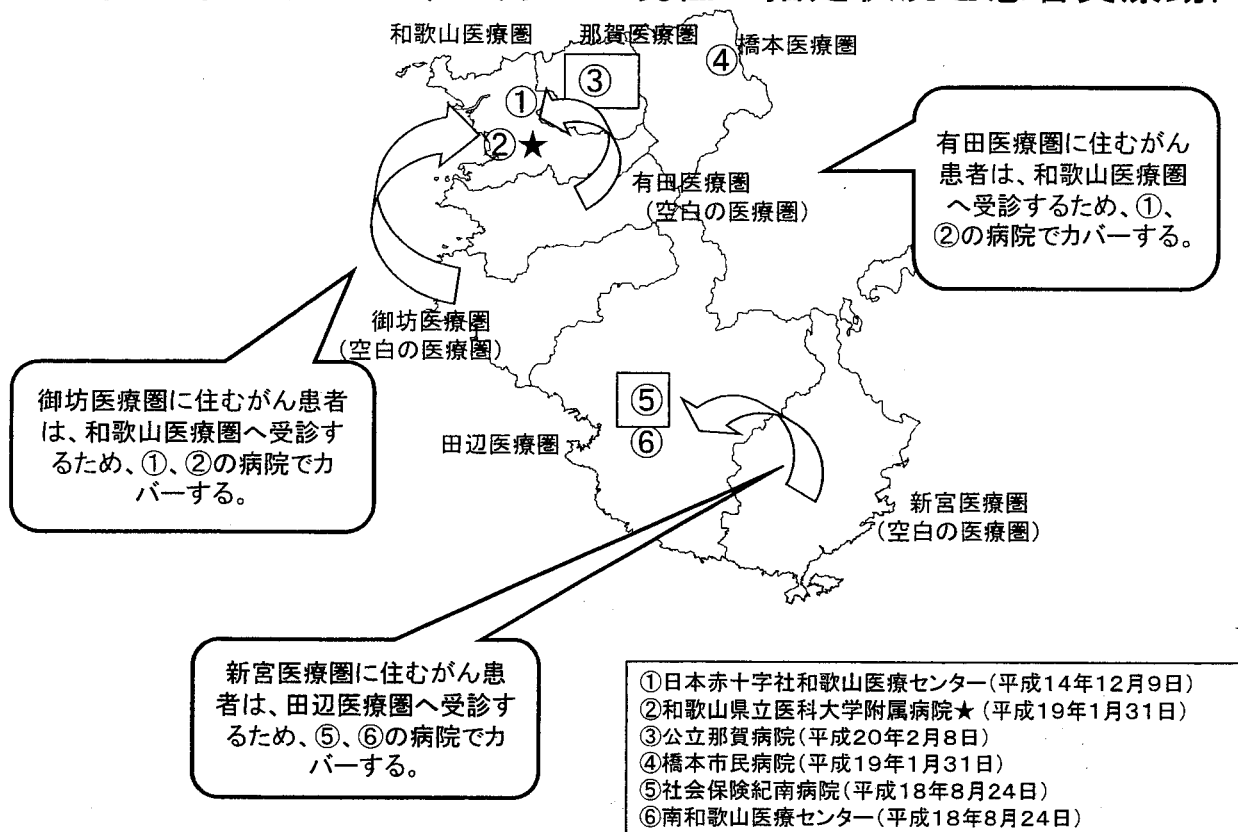
諏訪赤十字病院への機能評価 (H20.11.17)

# 30 和歌山県

-233-

資料 1

## 和歌山県平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



-234-

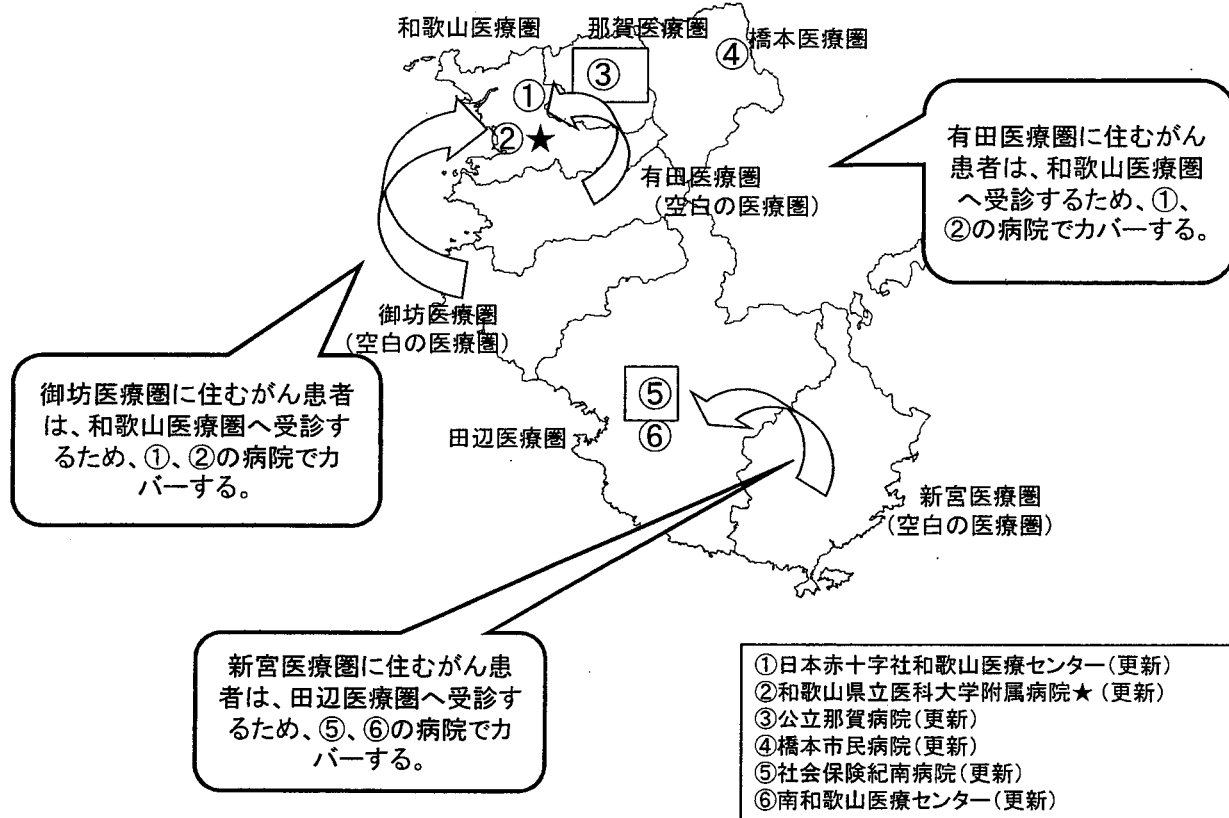
※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと  
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

資料2

No.	更新	申請区分	病院名	年間入院患者数の概算		治療法(手術件数)6ヶ月の集計										年間患者実数(1月~12月)		薬物療法のべ患者数		緩和ケアチームに対する新規診療依頼数(6~7月の集計)	相談支援センター相談件数(6~7月の集計)	退院時共同指2(6~7月の集計)	
				年間新入院患者数(1月~12月)	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合(%)	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		体外照射	小線源治療	入院患者数	外来患者数				
						悪性腫瘍手術総数	開胸手術	胸腔鏡手術	開腹手術	内視鏡手術 粘膜炎切除術(EMR)	開腹手術	内視鏡手術	開腹手術	ラジオ波焼灼療法	乳癌手術								乳房再建術(乳房切除後二期的に行うもの)
1	更新	和歌山	日赤和歌山	(3993) 4321	(23.0) 23.5	(247) 241	(12) 13	(26) 17	(27) 19	(0) 0	(38) 14	(1) 6	(4) 3	(24) 16	(9) 7	(0) 0	(464) 438	(7) 12	(418) 289	(559) 618	(8) 4	(20) 19	(0) 0
2	★更新	和歌山	和医大	(3388) 3899	(24.3) 26.4	(231) 269	(7) 0	(7) 13	(14) 15	(2) 1	(12) 10	(4) 1	(11) 15	(34) 49	(28) 35	(0) 0	(447) 514	(48) 60	(657) 782	(438) 549	(11) 13	(175) 219	(0) 0
3	更新	那賀	那賀	(1071) 1373	(19.0) 24.1	(95) 110	(1) 0	(2) 8	(3) 7	(0) 0	(6) 13	(4) 3	(1) 0	(6) 7	(4) 4	(0) 0	(88) 88	(0) 0	(59) 123	(28) 28	(10) 12	(6) 13	(0) 0
4	更新	橋本	橋本	(1017) 1063	(21.2) 21.5	(67) 57	(0) 0	(0) 0	(10) 9	(0) 0	(4) 13	(1) 0	(0) 1	(1) 0	(7) 8	(0) 0	(63) 76	(0) 0	(18) 21	(50) 67	(1) 11	(8) 12	(0) 1
5	更新	紀南	紀南	(1628) 1258	(18.0) 14.5	(79) 69	(0) 0	(0) 0	(10) 7	(2) 0	(19) 9	(1) 1	(0) 0	(0) 1	(4) 5	(0) 0	(135) 175	(0) 0	(84) 49	(65) 100	(2) 7	(4) 24	(0) 0
6	更新	和歌山	南和歌山	(394) 410	(7.8) 8.4	(35) 57	(0) 0	(6) 7	(10) 7	(0) 0	(0) 1	(2) 0	(0) 0	(4) 7	(7) 13	(1) 0	(103) 65	(0) 0	(39) 36	(52) 51	(1) 1	(133) 144	(0) 0

資料3

和歌山県平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向

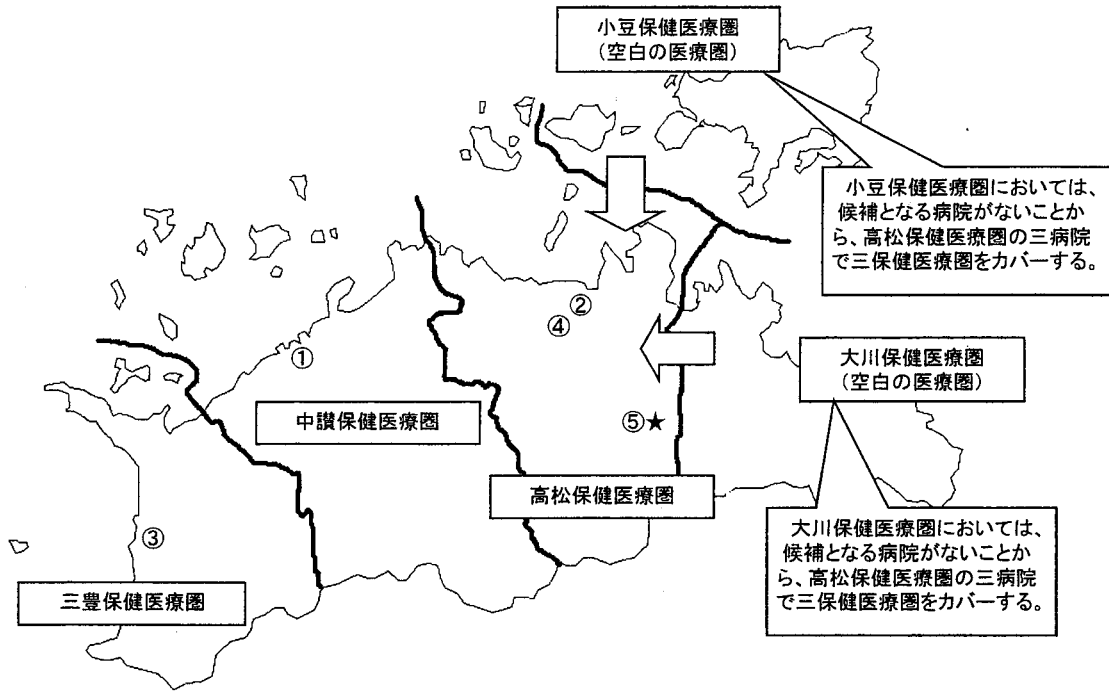


和歌山県におけるがんの75歳未満年齢調整死亡率の都道府県別順位は、全がんで平成17年が全国ワースト5位、18年2位、19年3位、20年において9位と、高水準で推移しており、がんは、県民にとって大きな健康不安の一つとなっており、予防・早期発見や医療体制の確保・充実が求められている。

県では、がん対策を主要施策と位置づけ、平成20年3月に、「和歌山県がん対策推進計画」を策定した。その中の重点課題として、がん診療の中心となる拠点病院を整備し、その機能向上を図ることなどにより、すべて県民が、住んでいる地域に関わらず、質の高いがん診療を受けることができる体制の整備を進めることとしており、今回の更新においても現在の6病院を引き続きがん診療連携拠点病院として推薦し、7医療圏におけるがん診療体制整備を図るものである。

## 37 香 川 県

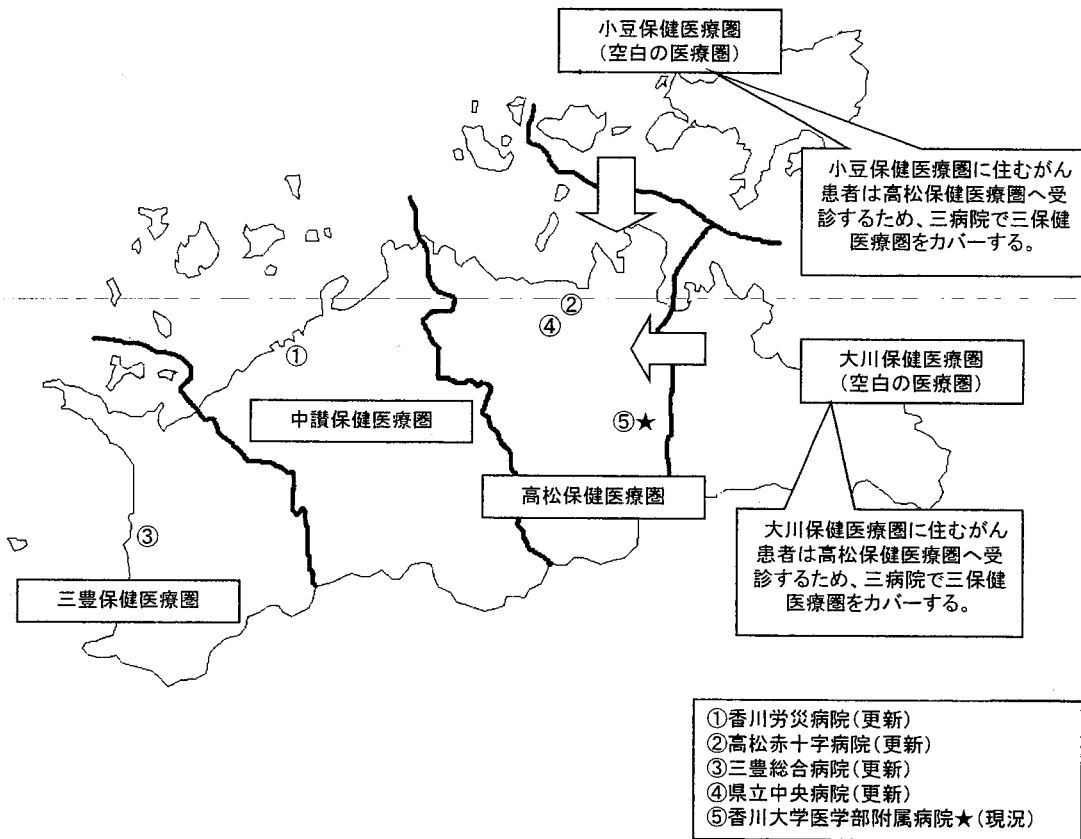
香川県平成21年4月1日現在の拠点病院の指定状況等について



- ①香川労災病院（平成18年8月24日）
- ②高松赤十字病院（平成19年1月31日）
- ③三豊総合病院（平成20年2月8日）
- ④県立中央病院（平成20年2月8日）
- ⑤香川大学医学部附属病院★（平成21年2月23日）

各病院における平成20年9月1日時点と平成21年9月1日時点の診療実績等の比較について

都道府県 or 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計										放射線治療		緩和ケア		相談 支援 センター 相談件 数(6 ~7月 の集計)	退院 共同 指導2 (6~7 月の 集計)		
			年間 新入院 患者数 (1月 ~12 月)	年間 新入院 患者数 に占める がん患者 の割合 (%)	悪性 腫瘍 手術 総数		肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数 (1月~12月)				薬物療法の べ患者数	
					開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視 鏡手 術粘 膜切 除術 (EMR)	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジオ 波焼 灼療法	乳癌 手術	乳房 再建 術(乳 房切 除後) 二期 的に 行う もの	体外 照射	小線 源治 療			入院 患者 数	外来 患者 数
1	更新	香川 労災 病院	(1678) 1,915	(26.8) 23.5	(186) 189	(0) 0	(6) 3	(30) 9	(7) 7	(16) 15	(6) 1	(1) 2	(2) 1	(9) 15	(0) 0	(255) 262	(0) 0	(114) 127	(385) 192	(35) 30	(8) 8	(4) 1
2	更新	高松 赤十 字病 院	(1511) 1,598	(14.5) 15.0	(130) 136	(3) 3	(2) 5	(11) 11	(1) 0	(12) 9	(2) 4	(3) 1	(6) 5	(4) 10	(0) 0	(94) 92	(0) 0	(231) 262	(214) 240	(12) 9	(4) 8	(0) 2
3	更新	三豊 総合 病院	(1940) 3,576	(19.9) 36.5	(67) 100	(8) 2	(7) 13	(4) 12	(0) 2	(10) 18	(3) 6	(6) 2	(7) 4	(5) 9	(0) 0	(89) 161	(0) 0	(171) 96	(576) 106	(3) 4	(32) 35	(0) 0
4	更新	県立 中央 病院	(2564) 3,590	(23.0) 32.4	(222) 192	(4) 2	(9) 11	(20) 12	(1) 1	(15) 9	(2) 4	(9) 6	(17) 27	(0) 11	(0) 0	(249) 274	(1) 13	(217) 210	(164) 235	(7) 7	(95) 32	(0) 0
5	★	香大 附属 病院	(2550) 2,240	(28.2) 24.6	(143) 144	(17) 18	(6) 10	(9) 10	(0) 3	(1) 8	(1) 3	(1) 3	(32) 15	(9) 10	(0) 0	(429) 416	(29) 27	(111) 349	(211) 509	(29) 7	(4) 8	(0) 0



-241-

今回の指定推薦等に係る県の考え方について

1. 推薦医療機関

香川労災病院、高松赤十字病院、三豊総合病院、香川県立中央病院（いずれも指定更新）

2. 推薦の理由

(1) 第5次保健医療計画及びがん対策推進計画における対策

①本県の現状と課題

がんは、本県において、昭和52年より死因の第1位、平成18年のがんによる死亡者数は2,879人で全死亡者の28.1%を占めている。高齢化が全国平均を上回っている本県では、がんによる死亡者数は今後とも増加していくと推測される。

②対策と目標

がんによる死亡者をできるだけ減少させることを目標とし、がん診療の体制の整備・充実について、拠点病院を核として、個別の目標を定めている。

(2) 拠点病院の整備状況

- ・三豊総合病院（平成15年12月指定、平成20年2月更新）、
- ・香川県立中央病院（平成17年1月指定、平成20年2月更新）
- ・香川労災病院（平成18年8月指定）
- ・高松赤十字病院（平成19年1月指定）
- ・香川大学医学部附属病院（平成20年2月指定、平成21年2月県拠点指定）

(3) 高松保健医療圏内に3病院を整備する必要と考え方

①大川、小豆保健医療圏の患者の受療動向

大川保健医療圏は、二市で構成され、面積は312.24 km<sup>2</sup>、人口割合は8.8%、病院数は5、小豆保健医療圏は二町で構成され、島嶼部で面積は170.01 km<sup>2</sup>、人口割合は3.2%、病院数は4という状況である。

また、県下の全病院を対象とした平成19年6月の県患者調査の結果によると、外来患者が通院する場合、大川保健医療圏に住所を有する患者の23.1%、小豆保健医療圏に住所を有する患者14.8%が、高松保健医療圏で受診している。

一方、入院患者を見ると、大川保健医療圏に住所を有する患者の33.5%、小豆保健医療圏に住所を有する患者の18.4%が高松保健医療圏で受診している。

このように、大川、小豆両保健医療圏の患者は、相当数が、高松保健医療圏で受診していることが窺え、これらの医療圏における医療機能の一定程度は、高松保健医療圏に依存しているといえる。

②2保健医療圏の状況 候補となる病院がない。

③その他

-242-

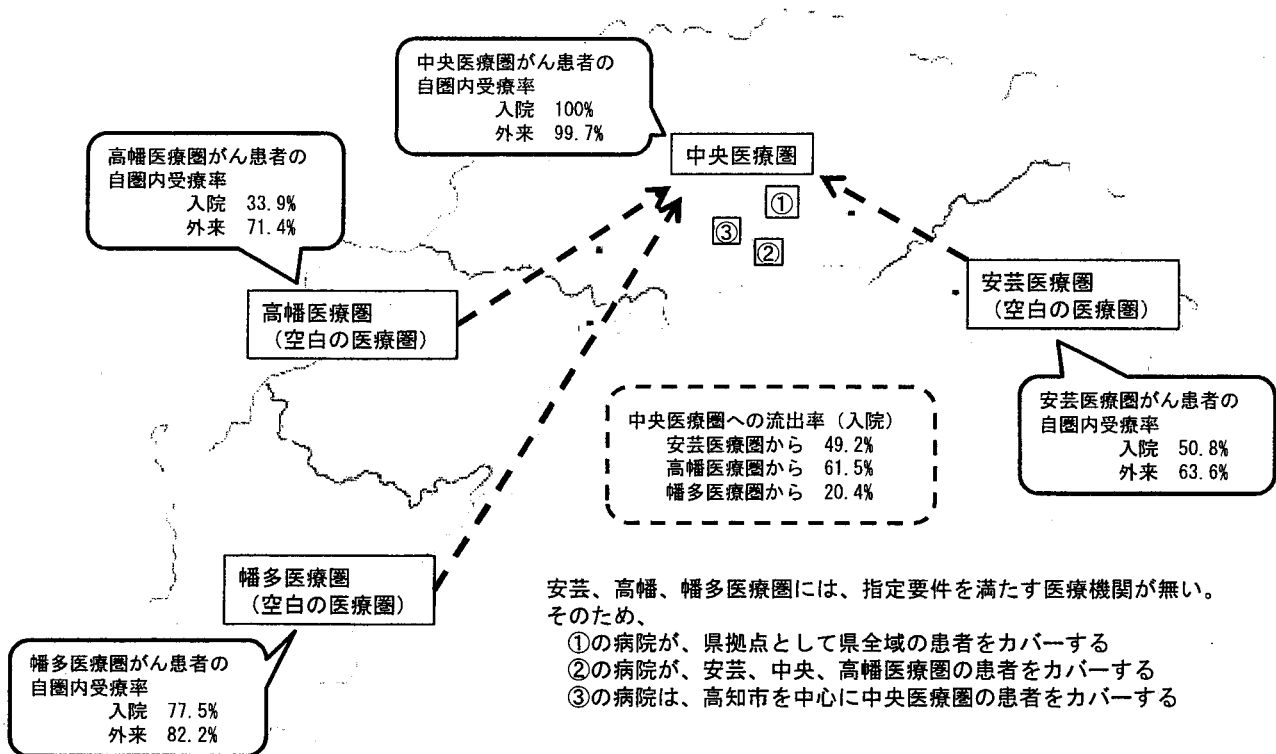


# 39 高知県

-243-

資料 1

## 高知県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向



安芸、高幡、幡多医療圏には、指定要件を満たす医療機関が無い。そのため、

- ①高知大学医学部附属病院★（平成18年8月24日指定）
- ②高知医療センター（平成20年2月8日指定）
- ③高知赤十字病院（平成20年2月8日指定）

※受療率等は、平成17年高知県患者調査結果による

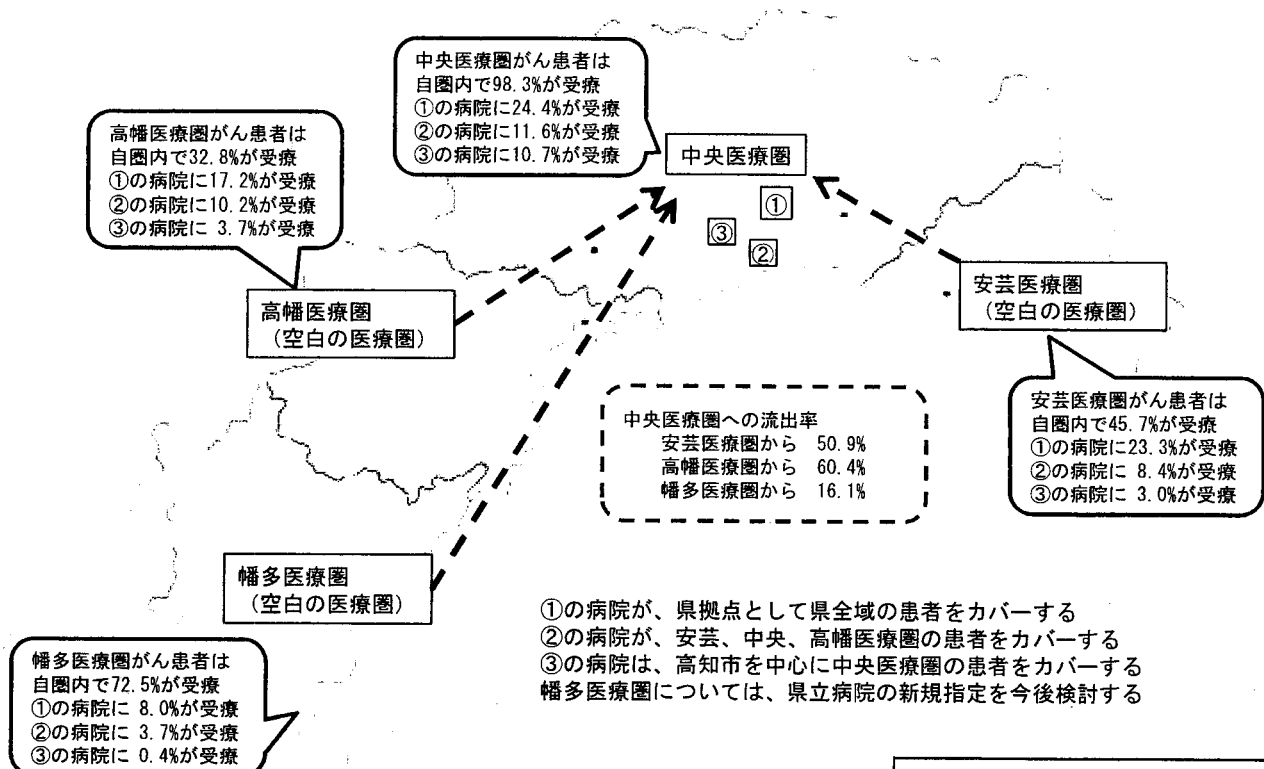
※( )内は平成20年10月末提出の数値、下段は平成21年10月末提出の数値 ※申請区分は資料3の作成要領を参照のこと  
 ※一枚につき11病院を超える場合には、2枚にわたって表を作成してください。

資料2

都道府県 O 地域	申請 区分	病院名	年間入院患者数の状況		治療件数(手術件数)6~7月の集計												放射線治療		がん治療 薬物療法 (6月~7月の集計)		緩和 ケア	相談 センター	地域 連携
			年間 新入院 患者数 (1月~12月)	年間 新入院 患者数に 占める がん患者 の割合 (%)	肺がん		胃がん手術		大腸がん手術		肝臓がん		乳がん		年間患者実 数 (1月~12月)		薬物療法の べ患者数		緩和 ケア チームに 対する 新規診 療依頼 数 (6~7月 の集計)	相談 セン ター 相談 件数 (6~7月 の集計)	退院共 同指 導料2 (6~7 月の 集計)		
					悪性 腫瘍 手術 総数	開胸 手術	胸腔 鏡下 手術	開腹 手術	内視 鏡手 術 粘 膜切 除術 (EM R)	開腹 手術	内視 鏡手 術	開腹 手術	ラジ オ波 焼灼 療法	乳癌 手術	乳房 再建 術(乳 房切 除後) 二期 的に 行う もの	体外 照射	小線 源治 療	入院 患者 数				外来 患者 数	
1	★	更新 高知大学 医学部附 属病院	(2749) 3,497	(32.5) 38.7	(140) 191	(7) 6	(5) 14	(13) 7	(1) 0	(2) 5	(0) 2	(15) 4	(0) 25	(24) 26	(0) 0	(333) 358	(58) 41	(470) 450	(472) 371	(14) 14	(219) 186	(0) 0	
2		更新 高知医療 センター	(3516) 4,028	(28.3) 33.7	(317) 187	(9) 12	(6) 5	(21) 14	(0) 0	(15) 27	(3) 2	(5) 11	(0) 4	(4) 7	(0) 0	(360) 325	(0) 0	(182) 164	(197) 218	(11) 19	(94) 265	(0) 0	
3		更新 高知赤十 字病院	(1431) 1,389	(16.5) 16.3	(89) 65	(8) 3	(5) 3	(5) 0	(0) 0	(13) 0	(0) 0	(2) 1	(0) 0	(2) 0	(0) 0	(132) 125	(0) 0	(57) 69	(221) 71	(18) 9	(34) 71	(0) 0	

資料3

高知県 平成22年度の指定推薦等状況と想定される患者受療動向



※受療率等は、平成20年国保レセプトによる0歳~74歳の入院及び外来受療の合計から計算

- ①高知大学医学部附属病院★ (更新)
- ②高知医療センター (更新)
- ③高知赤十字病院 (更新)

(1) がん診療の圏域の設定

本県には、4つの二次医療圏（安芸・中央・高幡・幡多）があるが、がん診療体制については、次のような医療機能の集積状況やがん患者の医療圏間移動、地理的条件等を踏まえ、県全体として高度医療の確保と患者の利便性の双方を確保できるよう、2診療圏域（中・東部及び西部）を設定する。

- ①本県では、医療機能が中央医療圏に集中しており、安芸及び高幡医療圏域内では十分ながん治療は実施できていない。
- ・安芸医療圏及び高幡医療圏では、放射線治療及び集学的治療を実施できる医療機関はない。
  - ・胃がんの放射線治療及び集学的治療が出来る医療機関は、中央医療圏にしかない。
  - ・幡多医療圏で、放射線治療及び集学的治療が出来る医療機関は1か所しかない。

②がんの入院患者についても、全県の7割強が中央医療圏に集中しており他の医療圏からの流入も多い。

安芸医療圏の入院患者の受療完結率	50.8%
中央医療圏の入院患者の受療完結率	100.0%
高幡医療圏の入院患者の受療完結率	33.9%
幡多医療圏の入院患者の受療完結率	77.5%

安芸医療圏から中央医療圏への流出は	49.2%
中央医療圏から他の医療圏への流出は	0.0%
高幡医療圏から中央医療圏への流出は	61.5%
幡多医療圏から中央医療圏への流出は	20.4%

③本県は、東西に長くしかも過疎化が進んだ中山間部を抱えるなど、地理的条件が厳しいが、最近の道路網や鉄道網の発達で、高知市から安芸・高幡医療圏への時間距離は、大幅に短縮している。

以上のことにより、がん診療については、2診療圏域（中・東部及び西部）を想定することとする。

(2) がん診療連携拠点病院の整備方針

都道府県拠点病院として、高知大学医学部附属病院（都道府県拠点・指定更新）の機能拡充を図るとともに、中・東部（安芸・中央・高幡医療圏）の地域拠点病院として、高知医療センター（地域・指定更新）及び高知赤十字病院（地域・指定更新）を整備する。

また、幡多医療圏については、5年以内に、幡多けんみん病院を拠点病院として整備できるよう検討を進める（第5期保健医療計画に明記）。

圏域	医療機関名	各医療機関の機能
全県	高知大学医学部附属病院 (都道府県拠点・指定更新)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆都道府県拠点病院として、高知がん診療連携協議会を主宰する。</li> <li>◆特定機能病院及び大学病院として、県内全域を対象に、高度ながん診療のみならず、次の機能も発揮する。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・症例の少ないがんの診療を行う。</li> <li>・全県の医師に対し、大学の教育機能を活かした研修を行う。</li> <li>・全県の医療機関への医師派遣を通じて、県内の医療技術の向上を図る。</li> </ul> </li> <li>◆県内4医療圏の医療機関等の拠点として、遠隔画像システム等を通じて、診療支援を行う。</li> <li>◆PET-CTセンターを稼働させ、県内全域の病院・診療所の検査機関として機能している。</li> </ul>
	高知医療センター (地域・指定更新)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中・東部の拠点病院であるとともに、本県の基幹病院として、県内全域を対象に高度な医療を行う。</li> <li>◆高知大学とともに、中央医療圏、安芸医療圏・高幡医療圏の患者の診療と、これら医療圏の医療機関の診療支援を行う。</li> <li>◆がんの分野でも、地域のかかりつけ医やホスピス病院と共同して、緩和ケアも含めた在宅医療の充実を推進しており、がんにおける病病連携、病診連携、がん在宅医療推進の役割を果たしている。</li> </ul>
中・東部	高知赤十字病院 (地域・指定更新)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆中・東部でがん診療の中核となる病院で、高度ながん診療を行うとともに、地域医療支援病院として医療圏内の医療機関と緊密な連携体制を築いている。</li> <li>◆高知市中心部に位置し、JR高知駅や高速道路高知ICに近いなど、県内患者の利便性が図られている。</li> </ul>
	幡多けんみん病院 (今後、拠点病院として、整備を具体的に検討する。)	◆幡多地区の基幹病院として、高度な医療を行う。
西部		

中央医療圏に3病院を推薦する理由

(1) 患者の受療動向と他の医療圏との関係

安芸・高幡医療圏については、集学的治療が実施できないため、多くの患者が中央医療圏へ流入している。

安芸医療圏については、がん外来患者の自圏内受療完結率が63.6%、がん入院患者の自圏内受療完結率が50.8%となっており、その残りのほとんどが中央医療圏に流入している。

高幡医療圏については、がん外来患者の自圏内受療完結率が、71.4%、がん入院患者の自圏内受療完結率が33.9%となっており、その残りのほとんどが中央医療圏に流入している。

幡多医療圏については、がん外来患者の自圏内受療完結率が、82.2%、がん入院患者の自圏内受療完結率は77.5%と高い。

中央医療圏以外で現在要件を充足する病院はなく、安芸医療圏・高幡医療圏については、今後も整備が見込めない状況である。

以上のように、中央医療圏は、幡多医療圏を除く安芸・高幡医療圏を広くカバーする必要があり、現在の保健医療圏の枠組みを超えた広域対応が必要である。

資料 「悪性新生物 患者流出状況」平成17年高知県患者調査

機関医療圏 患者医療圏	中央	安芸	高幡	幡多	県外	実数
中央医療圏	100.0	0	0	0	0	759
安芸医療圏	49.2	50.8	0	0	0	122
高幡医療圏	61.5	0	33.9	2.8	1.8	109
幡多医療圏	20.4	0	0.7	77.5	1.4	142

機関医療圏 患者医療圏	中央	安芸	高幡	幡多	県外	実数
中央医療圏	99.7	0.3	0	0	0	604
安芸医療圏	33.8	63.6	0	0	2.6	77
高幡医療圏	28.6	0	71.4	0	0	91
幡多医療圏	11.1	0	5.6	82.2	1.1	90

資料 4-2

(2) 拠点病院間の機能分担等

- ①対象地域  
高知大学医学部附属病院は、遠隔画像システムや医師派遣による支援を行い、広く県内全域を対象としている。各医療圏居住患者の受療割合（入院分）からみると、安芸医療圏38.0%、中央医療圏24.7%、高幡医療圏23.7%、幡多医療圏12.8%で、県内全域をカバーしている。
- 高知医療センターは、中央及び高幡医療圏を中心に、県内全域を対象とし、診療、診療連携、支援を行っている。各医療圏居住患者の受療割合（入院分）からみると、安芸医療圏9.9%、中央医療圏18.8%、高幡医療圏22.0%、幡多医療圏10.5%で、中央及び高幡医療圏の受療割合が高い。
- 高知赤十字病院は、中央医療圏を中心に診療、診療連携、支援を行っている。各医療圏居住患者の受療割合（入院分）からみると、安芸医療圏1.4%、中央医療圏11.5%、高幡医療圏3.4%、幡多医療圏0%で、中央医療圏のうちでも高知市の患者に限ってみると14.1%と受療割合が高い。
- 以上のことから、安芸医療圏は高知大学医学部附属病院が主となって、高知医療センターとともにカバーしており、高幡医療圏は高知大学医学部附属病院と高知医療センターがカバーしている。
- 高知赤十字病院は、中央医療圏でも高知市が中心となっている。
- ②主要ながん治療（手術）実績（平成18年度）  
高知大学医学部附属病院は、子宮がん以外はほぼ同程度の実績であり、幅広く手術が行われている。
- 高知医療センターは、胃・大腸悪性腫瘍手術、肝臓・胆嚢・膵臓悪性腫瘍手術の割合が高いことが特徴である。
- 高知赤十字病院は、胃・大腸悪性腫瘍手術、子宮悪性腫瘍手術の割合が高いことが特徴である。
- 3病院ともに、がんについて放射線治療、化学療法との併用による集学的治療を実施している。

(3) 本県のがん診療体制を整備するうえでの必要性  
がん診療については、最新の医療を本県でも提供しうる体制づくりを目標とし、医療従事者の育成、診療の相互支援、がんに係る情報の収集・提供等を行うこととしている。その推進体制としては、特定機能病院及び大学病院である高知大学医学部附属病院が、都道府県がん診療連携拠点病院として県全体のがん治療水準の向上と人材の育成、治療連携体制を構築していく。

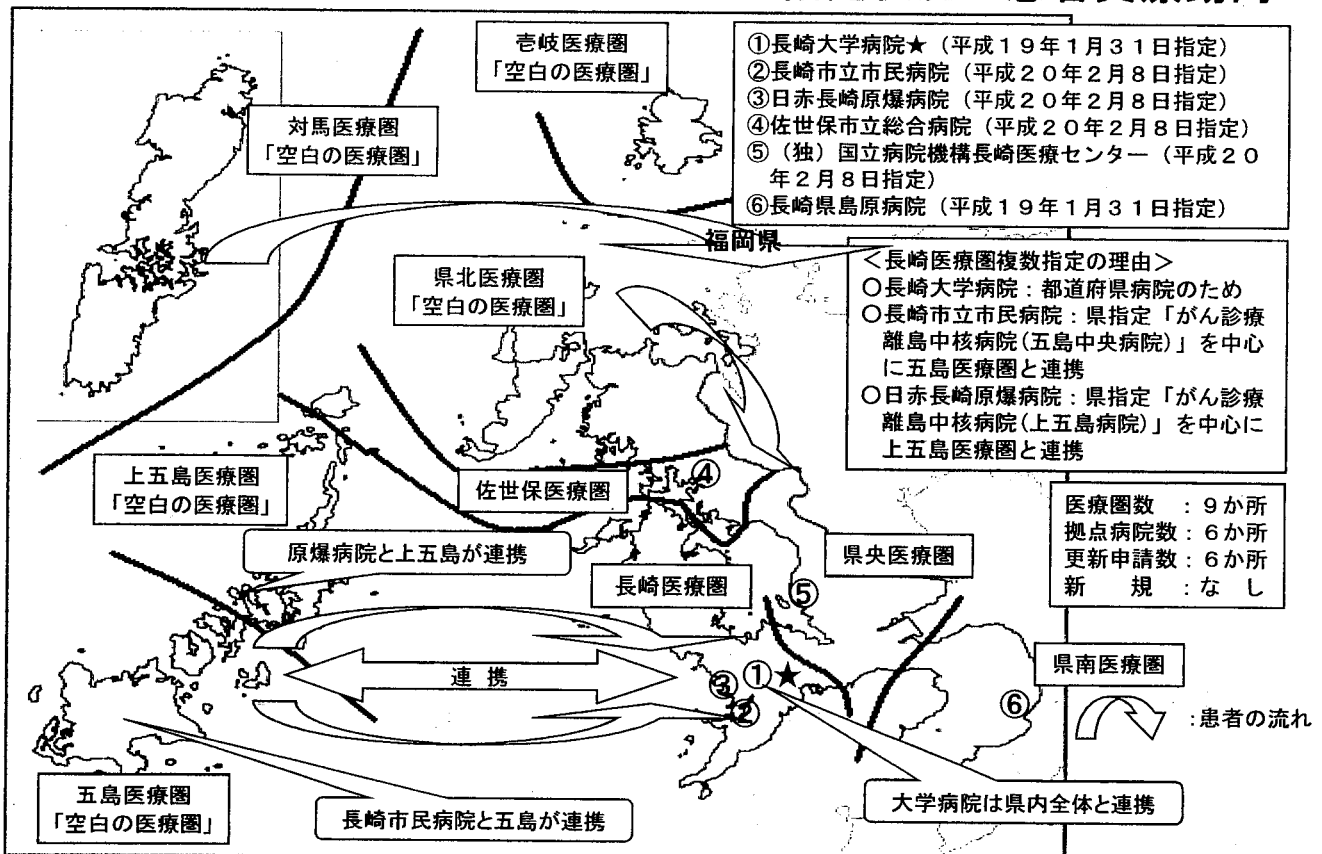
また、安芸医療圏及び高幡医療圏にがん診療連携拠点病院としての要件を満たす病院が無いことから、高知医療センターと高知赤十字病院の2病院が、高知大学医学部附属病院と連携して、中央医療圏のほか安芸医療圏・高幡医療圏をカバーしていくことが不可欠であり、中央医療圏に3病院の指定が必要である。

以上のことから、高知県としては、高知大学医学部附属病院を全県的ながん治療と人材育成の基幹病院とし都道府県がん診療連携拠点病院に、高知医療センターと高知赤十字病院を中央・安芸・高幡医療圏をカバーする地域がん診療連携拠点病院として推薦し、がん診療地域連携診療体制を構築する方針である。

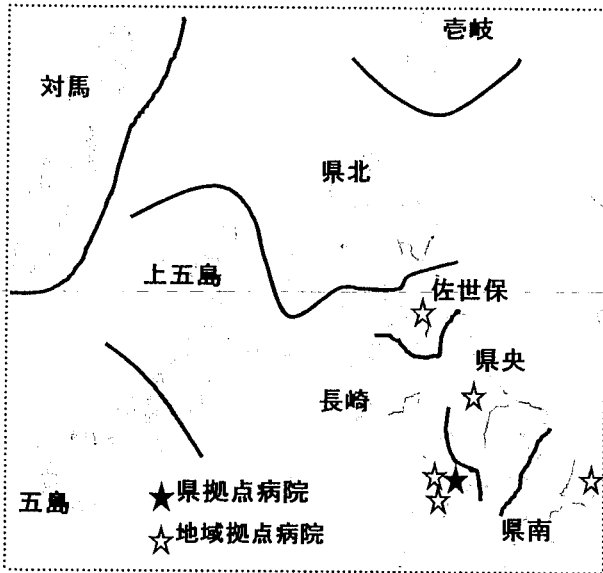
# 42 長崎県

資料 1

## 長崎県 平成21年4月1日現在の指定状況と患者受療動向







人口:約144万人  
 (本土:約125万人、離島:約19万人)  
 医療圏:9か所(本土:5か所 離島:4か所)  
 都道府県病院:長崎大学病院(長崎医療圏)  
 地域病院:長崎市立市民病院(長崎医療圏)  
 (県1、地域5) 長崎原爆病院(長崎医療圏)  
 佐世保市立総合病院(佐世保医療圏)  
 国立病院機構長崎医療センター(県中央医療圏)

「空白の医療圏」への対策  
 ○長崎県島原病院(県南医療圏)  
 ○離島地域医療圏、県北医療圏には、整備指針の要件を満たす病院がない。  
 ○そのため、「長崎県保健医療計画」及び「長崎県がん対策推進計画」において、各地域拠点病院に、拠点病院のない医療圏域も含めた「地域がん診療連携協議会」を設置し、その地域におけるがん診療に関する研修会の計画・実施、地域の医療機関や介護施設等との連携等により、地域全体のがん医療水準の向上を図ることとしている。

<連携体制>

(医療圏名)	(がん診療離島中核病院)	(連携支援病院)
五島医療圏	五島中央病院	◎長崎市立市民病院、日赤長崎原爆病院、長崎大学病院
上五島医療圏	上五島病院	◎長崎市立市民病院、◎日赤長崎原爆病院、長崎大学病院
壱岐医療圏	壱岐市民病院	長崎医療センター、長崎大学病院
対馬医療圏	対馬病院	長崎医療センター、長崎大学病院
県北医療圏域	佐世保市立総合病院	

○がん診療離島中核病院(◎は主連携担当病院)

<「長崎県がん対策推進計画」～抜粋～>

<b>長崎県がん診療連携協議会</b>	県内のがん診療の質の向上を図るため研修等の企画立を行う 協議会設置:長崎大学医学部・歯学部附属病院(以下、この頁内「長崎大学病院」という。) 協議会メンバー:全拠点病院
<b>地域がん診療連携協議会</b>	地域のがん診療の質の向上を図るため研修会等の企画立を行う
○長崎地域がん診療連携協議会	協議会設置:長崎市立市民病院、日赤長崎原爆病院 協議会メンバー:地域医師会(長崎市、西彼杵)、医療圏内の主ながん診療医療機関、のほか、必要に応じ、訪問看護ステーション、介護関係者、行政機関(市町、保健所)など
○五島・上五島地域がん診療連携協議会	協議会設置:長崎市立市民病院、日赤長崎原爆病院(五島中央病院、上五島病院と共同運営) 協議会メンバー:地域医師会(五島)、以下同じ
○佐世保・県北地域がん診療連携協議会	協議会設置:佐世保市立総合病院 協議会メンバー:同上(佐世保市、平戸市、北松浦)、以下同じ
○県央地域がん診療連携協議会	協議会設置:長崎医療センター 協議会メンバー:同上(諫早、大村市、東彼杵郡)、以下同じ
○県南地域がん診療連携協議会	協議会設置:県立島原病院 協議会メンバー:同上(島原市、南高)、以下同じ
○壱岐・対馬地域がん診療連携協議会	協議会設置:長崎医療センター(壱岐市民病院、対馬いづはら病院と共同運営) 協議会メンバー:同上(壱岐、対馬市)、以下同じ
<b>離島中核病院</b>	拠点病院の支援を受けつつ、地域医療機関も含めたがん診療従事者を育成する
五島	五島中央病院
上五島	上五島病院
壱岐	壱岐市民病院
対馬	対馬いづはら病院

○長崎県がん対策部会(長崎県がん対策協議会)  
 平成21年10月20日開催  
 更新申請病院6か所について、  
 ・拠点病院整備指針を満たしている  
 ・すでに、それぞれの地域において、がん診療の地域連携及び、医師、看護師等への研修会の開催など拠点病院の役割を果たしている  
 →よって、全病院の推薦を承認

○長崎医療圏の複数更新申請  
 ・長崎市立市民病院  
 五島医療圏との連携及び長崎医療圏(主に南部)の中核病院としての実績とともに、長崎県がん診療連携協議会緩和ケアWG中心的役割を担当。  
 ・日本赤十字社長崎原爆病院  
 被爆県である本県の特殊性から、被爆者、被爆二世も含めたがん診療を行っているとともに、上五島医療圏との連携及び長崎医療圏(主に北部)の中核病院としての実績に加え、WGの相談支援部門の中心的役割を担当。  
 ・長崎大学病院  
 県内全域(一部佐賀県等を含む)のがん診療を営む。特に、合併症、小児、妊婦、多重がん等、特殊な治療を担うとともに、県拠点病院として、県内のがん診療医療従事者に対する各研修会の企画、支援及び実施。